

Rotary



2019-20年度 国際ロータリーテーマ
『ロータリーは世界をつなぐ』
ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-20 RI会長 マーク・ダニエル・マローニ
RI 2820地区ガバナー 中村 澄夫

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2052号 2020年3月5日発行
水と衛生月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
 加盟：1978年4月14日
 例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
 〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
 電話 0479(48)0333

例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分

○会 長	後 藤 美紀代
○会長エレクト兼副会長	菅 谷 昭 夫
○幹 事	伊 藤 恭 弘
○副 幹 事	金 子 大 作

第2051(32回) 例会報告

令和2年2月27日(木)晴れ

進行：泉SAA

本日のお客様：崔 文竹 様 (米山奨学生)

◇ 会長あいさつ後藤会長

今月の月信を読みました。その中に第2820地区青少年奉仕委員会が「ポリオ根絶募金活動を」水戸駅北口、水戸駅南口に於いてポリオ根絶のために、ロータリアン、インターアクター、米山奨学生など総勢160名が一般市民に向けポリオ根絶の大切さを訴え、街頭募金活動をされたことを読みました。又水海道ロータリークラブの瀬戸様のパキスタンポリオワクチン投与活動報告が載っておりました。私も行った事のあるパキスタンでしたので興味深く読みました。パキスタンは危険地域」ですので観光客はいませんが山々がとっても美しい国です。ポリオは今年度パキスタンで101件、アフガニスタンで24件と急激に増加しました。現地においては、いまだポリオワクチン接種に理解していない人が多いと書かれていました「どうしてなのか」瀬戸さんにお会いしましたら聞いてみたいと思っていましたところ。2月18日に「ポリオ予防接種チーム狙った爆弾攻撃、警察官1人死亡」が目に飛び込んできました。今回の攻撃はパキスタン政府が数千万の子供達に予防接種をすとの事を知り、爆弾を仕掛けたとの事です。私達もポリオ支援していますがとっても心の痛むニュースでした。



◇ 幹事報告伊藤幹事

1. 「RLIパートⅢ」開催の件

3月1日に開催予定しておりましたが諸般の事情により延期(期日未定)となりました

2. IMの決算ができましたので決算書配布します

3. 例会変更 鹿島臨海RC 3月20日休会

4. 週報拜受 水戸RC 水戸西RC



◇ 委員会報告

○ 親睦委員会高橋委員長

親睦旅行についてです。新型コロナウイルスの影響で延期とさせていただきます。健康に留意してお過ごしくください。



◇ クラブフォーラム

○ 伊藤幹事

・IM決算について

収入の部として第八分区会員数146名の登録料、地区補助金、祝儀を合計して¥946,000.-となります。



支出の部としてプログラム作成費、看板、胸花リボン・下げ札、友愛コーナー・会場お茶代、アトラクション、コンパニオン、手土産、懇親会費用、記念品、支払手数料などを合計して¥947,405.-となります。不足分の¥1,405.-を波崎RCニコニコボックスより支出お願いします。

○ 山本増強委員長

以前より声をかけてます入会予定者につきましては、あらためて声掛けをしていく必要がありますので、各々の方に連絡を取っていききたいと思います。



◇ 豆知識

○ 国vs茨城県・漁民の攻防ヤマ場 汚染水海洋放出

東京電力福島第1原発のトリチウムを含む処理済み汚染水の海洋放出を巡る国vs茨城県・漁民の攻防がヤマ場を迎えようとしている。内閣府の担当者が去る20日、茨城県庁で大井川和彦知事に政府小委員会の報告書の内容を説明したのに対し、知事は「白紙で検討を」と突っぱねた。政府小委員会が「現実的な選択肢」として海洋放出を大筋で了承したのが1月31日。これを受け大井川知事は、原発事故発生以降、一部魚種の出荷制限に伴う損失や、風評被害による魚価の低迷など厳しい状況に置かれてきた経緯を指摘した。さらに小委員会の取りまとめ案は「水蒸気放出及び海洋放出が現実的な選択肢であり、海洋放出の方が確実に実施できる」としているのに対し、「結論ありきの取りまとめは容認できない。より影響の出ない方法はないか、さらなる検討を期待する」とコメント。小委員会の取りまとめ案に”注文”を付けた。

・沿岸漁民、怒りを爆発

沿岸漁民の闘いは苦難の連続で、今も続いている。2011年3月の東日本大震災、原発事故発生後、いち早く漁業再開に取り組んだが、茨城沖のコウナゴから暫定規制値を超える放射性セシウムが検出。市場での取引拒否、出荷・販売の自粛要請を強いられた。翌12年4月、新基準値の設定（1キロ当たり100ベクレル）が行われたが、茨城県はさらに厳しく50ベクレルの自主的な自粛基準を設定し、県産魚介類の安全確保に努めた。基準遵守は北部（日立市以北）、県央部（東海村～大洗町）、南部（鉾田市以南）の各海域ごとに3カ所以上検査（期間は1カ月）するという徹底ぶり。この地道な努力が実り、2017年3月、海面28魚種の出荷制限、生産自粛が取られてきた規制は、やっと解除された。しかし韓国、中国、台湾など一部の国・地域では、いまだに輸入規制が続いている。さらには、内水面関係でも霞ヶ浦のアメリカナマズと、利根川・境大橋下流のウナギは国の出荷制限を受けており、原発事故の爪痕は残ったままだ。政府小委員会が海洋放出の方法を示唆した報告書を10日に公表すると、沿岸漁民は敏感に反応し怒りを爆発させた。間髪を入れず、平潟（北茨城市）からはさき（神栖市）まで県内10漁協で組織する茨城沿海地区漁業協同組合連合会（飛田正美会長）は13日、県庁に大井川知事を訪ね「多核種除去整備等処理水の海洋放出を行わないよう国への働きかけを求める要請書」を提出。処理水を海洋放出することになれば「風評被害の再燃は必至」で、トリチウム以外の放射性物質が残留しているとの報告もあり、事故発生直後に引き戻されるのではと不安を訴える。「海洋放出はこれまでの漁業関係者の努力を水疱に帰し、漁業の継続を断念する状況に追い込む仕打ちであり、絶対に受け入れることはできない」と声高に主張した。大井川知事も「皆さんと同じ気持ち」と同調し、地方から反旗を掲げた。

◇ 出席報告 西條出席委員長

項目 例会	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
			出席	メイク	
第1例会	16会員	16会員	11	6	100.00%
第2例会	16会員	16会員	12	22	212.50%
第3例会	16会員	16会員	12	0	75.00%
第4例会	16会員	16会員	12	0	75.00%
2月度平均			115.63%		

2月度出席表 出席：○ 欠席：／ M+数字：メイクアップ回数 出席免除：免

会員名	6日	13日	20日	27日	出席数	M数	会員名	6日	13日	20日	27日	出席数	M数
赤出川 清	○	○M2	○	○	4	2	林 久夫	○	○M2	○	○	4	2
安藤 信一	／	／	／	／	0	0	福地 孝徳	／	○M1	○	○	3	1
安藤 寿博	／	／	○	／	1	0	山本 英雅	○M1	○M2	／	○	3	3
泉 純一郎	○	○M2	○	○	4	2							
伊藤 恭弘	○M1	○M2	○	○	4	3							
遠藤 貴之	○	○M1	○	○	4	1							
金子 大作	／	／M2	／	／	0	2							
後藤美紀代	○M1	○M1	○	○	4	2							
西條 健一	○	○M2	○	○	4	2							
西條 昌良	／	／	／	／	0	0							
篠塚 茂男	○M1	○M2	○	○	4	3							
菅谷 昭夫	○	○M2	○	○	4	2							
高橋 佑至	○M1	○M1	○	○	4	2							

メイクアップ

◇ ニコニコBOX報告 高橋親睦委員長

山本 英雅 欠席を詫びて ¥2,000

ニコニコBOX	2,000円
コインBOX	1,920円
ビジター(0件)	0円
合計	3,920円

ニコニコBOX	
1週	10,000円
2週	12,000円
3週	4,000円
4週	2,000円
月計	28,000円
累計	262,000円

コインBOX	
1週	2,100円
2週	1,500円
3週	1,452円
4週	1,920円
月計	6,972円
累計	43,337円

3月の予定 5日 卓話 赤出川会員

12日

19日

26日 クラブフォーラム